

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公開番号】特開 2005-189169 (P2005-189169A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-027
 【出願番号】特願 2003-432949 (P2003-432949)
 【国際特許分類】

G 0 1 S 15/58 (2006.01)

G 0 1 P 5/00 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

B 6 5 H 7/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 S 15/58

G 0 1 P 5/00 C

G 0 3 G 21/00 3 7 2

B 6 5 H 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 11 日 (2006.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移動体の速度を検出する速度検出装置であって、
 超音波を送信する送信部と、
 前記移動体の、前記送信部からの超音波が照射される位置近傍に設けられた基準反射部と
 、
 前記移動体で反射された超音波と、前記基準反射部で反射された超音波とに基づいて、前
 記移動体の速度を検出する検出部と、
 を具備することを特徴とする速度検出装置。

【請求項 2】

搬送装置の移動部の速度を検出する搬送速度検出装置であって、
 超音波を送信する送信部と、
 前記移動部の、前記送信部からの超音波が照射される位置近傍に設けられた基準反射部と
 、
 前記移動部で反射された超音波と、前記基準反射部で反射された超音波とに基づいて、搬
 送速度を検出する検出部と、
 を具備することを特徴とする搬送速度検出装置。

【請求項 3】

前記検出部は、前記移動部で反射された超音波と、前記基準反射部で反射された超音波と
 を、1 : 1 の受信強度比で受信することを特徴とする請求項 2 に記載の搬送速度検出装置
 。

【請求項 4】

前記移動部で反射された超音波と、前記基準反射部で反射された超音波の受信強度比は、
 前記基準反射部の面積を変えることにより設定されることを特徴とする請求項 2 に記載の

搬送速度検出装置。

【請求項 5】

前記移動部で反射された超音波と、前記基準反射部で反射された超音波の受信強度比は、前記基準反射部の反射率を変えることにより設定されることを特徴とする請求項 2 に記載の搬送速度検出装置。

【請求項 6】

前記移動部で反射された超音波と、前記基準反射部で反射された超音波の受信強度比は、前記基準反射部の形状を変えることにより設定されることを特徴とする請求項 2 に記載の搬送速度検出装置。

【請求項 7】

搬送装置の移動部により記録媒体を搬送する画像形成装置であって、
前記移動部の搬送速度検出を行うために、
超音波を送信する送信部と、
前記移動部の前記送信部からの超音波が照射される位置近傍に設けられた基準反射部と、
前記移動部で反射された超音波と、前記基準反射部で反射された超音波とに基づいて、前記移動部の当該搬送速度を検出する検出部と、
を具備することを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

上記の目的を達成するために、本発明の態様のひとつである速度検出装置は、移動体の速度を検出する速度検出装置であって、超音波を送信する送信部と、移動体の、送信部からの超音波が照射される位置近傍に設けられた基準反射部と、移動体で反射された超音波と、基準反射部で反射された超音波とに基づいて、移動体の速度を検出する検出部と、を具備することを特徴とする。

また、本発明の別の態様のひとつである搬送速度検出装置は、搬送装置の移動部の速度を検出する搬送速度検出装置であって、超音波を送信する送信部と、移動部の、送信部からの超音波が照射される位置近傍に設けられた基準反射部と、移動部で反射された超音波と、基準反射部で反射された超音波とに基づいて、搬送速度を検出する検出部と、を具備することを特徴とする。

さらに、本発明のさらなる別の態様のひとつである画像形成装置は、搬送装置の移動部により記録媒体を搬送する画像形成装置であって、移動部の搬送速度検出を行うために、超音波を送信する送信部と、移動部の送信部からの超音波が照射される位置近傍に設けられた基準反射部と、

移動部で反射された超音波と、基準反射部で反射された超音波とに基づいて、移動部の当該搬送速度を検出する検出部と、を具備することを特徴とする。

以上。